

日本の近代戯曲を読む！

◎日本の近代戯曲研修セミナー

「命短し恋せよ乙女」で知られる歌人の吉井勇。彼は華族の家に生まれたことを恥じ、反抗し、流浪し、遊蕩し、沈溺し、そこにアイデンティティを見出す。「デカダンス」という言葉だけでは表せないその華麗な実態を短歌作品に結晶させ、歌人として文芸活動を開始した吉井は、日本近代劇の夜明けと呼ばれる『ジョン・ガブリエル・ボルグマン』（イブセン作、小山内薫演出）に魅せられ、劇作を始める。観劇の帰りに読んだ歌は次の通り。「ボルグマン見し帰り路の酔心地夢見ごちを忘れかねつも」。当初は、西洋から移入された問題劇・象徴劇の形式を用い、耽美頹唐ともいえる世界を描く戯曲を発表。その後、二代目蝶花楼馬楽に材をとった市井の芸人物を連作として書き続ける。それはおとしめられ、差別されることの多い芸人社会にこそ人間の真実がひそむという信念から書かれたものである。西洋風初期戯曲から芸人物へ。吉井勇という一人の作家を通して照射される日本近代の演劇と演劇史を、「読み」そして「語る」、二日間。

大正・昭和期の歌人、劇作家



吉井 勇

Isamu Yoshii (1886~1935)

維新の功労により伯爵となった旧藩家士・吉井友實を祖父、海軍軍人で貴族院議員も務めた吉井幸蔵を父に、明治19（1886）年10月8日、東京市芝区高輪町に生まれる。幼少期を鎌倉材木座の別荘で過ごし、鎌倉師範学校付属小学校に通う。明治33（1900）年、東京府立第一中学校に入学、漢学塾へも通い、『十八史略』『文章規範』など習い、『海国少年』に短歌を投稿し1位となった。3年の時、落第したため攻玉舎中学に転入する。明治38（1905）年、攻玉舎を卒業後に肋膜炎を患って入院するが、鎌倉の別荘へ転地療養した際に歌作を始め、与謝野鉄幹の指導を受け、『明星』に次々と歌を発表、北原白秋、

石川啄木とともに新進歌人として注目される。明治41（1908）年、早稲田大学文学部高等科に入学するが、殆ど講義に出席せず中退した。その年の末、耽美派の拠点となる「パンの会」を北原白秋、木下空太郎、石井柏亭らと結成。明治42（1909）年3月、戯曲『午後三時』を『スバル』に発表。坪内逍遙に認められ、戯曲『浅草観音堂』『鶴の死骸』など続々に発表し、『浅草観音堂』は東京俳優学校で小山内薫の演出により試演される。明治43（1910）年、第一歌集『酒ほがひ』を刊行。翌年には戯曲『河内屋兵衛』（新思潮）を発表、自由劇場（有楽座）にて上演。明治45・大正元（1912）、戯曲集『夜』刊行、大正2（1913）年、戯曲『燈籠物語』が左団次一座で、戯曲『彌生尼』が梅幸・菊五郎らによって上演。大正3（1914）年、戯曲『狂蕩人』『俳諧亭句楽の死』『無頼漢』など発表。この頃が一番戯曲熱に燃えていた。大正4（1914）年、竹久夢二の装幀で、歌集『紙翫歌集』発表。以後、歌集の刊行が増えたが、歌風は耽美頹唐であり、赤木哲平から「遊蕩文学」であるとの攻撃を招いた。大正8（1919）年、小山内薫、久保田万太郎、里見弴、久米正雄らと国民文芸会を創立。大正10（1921）年、柳原徳子と結婚。大正13（1923）年頃から、放浪の旅に出、土佐での端唄生活を經て京都に移り、歌風も大きく変化していった。戦後は谷崎潤一郎、川田順、新村出と親しく、昭和22（1947）年には四人で天皇に会見、昭和23（1948）年、歌会始選者となり、亡くなるまで13年間選者をつとめた。同年8月、日本芸術院会員。昭和35（1960）年、肺病のため京都で死去。墓所は東京・青山の青山霊園にある。

シンポジウムゲスト・11日 矢野誠一（やのせいいち）

1935年、東京に生まれ、麻布学園、文化学院に学ぶ。新劇の裏方を経て、1962年、戦後の名人を集めた「精選落語会」をプロデュース。ホール寄席の人気を高める。演藝、演劇評論、評伝、エッセイなどを執筆。著書に「落語手帖」「落語歳時記」「志ん生のいる風景」「エノケン・ロッパの時代」「女興行師吉本せい」など多数。1996年、「戸板康二の歳月」にて尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞、2006年、スポニチ文化芸術大賞優秀賞を受賞。

＜お申込み方法＞ ※あらかじめご予約ください。

◎申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXまたは 郵送にてお申し込み下さい。

◎メールでご予約の際は、件名を「チケット予約」とし、本文に「お名前・枚数・ご連絡先」をご明記の上お申し込みください。予約完了メールが届いた時点で予約完了となります。

＜お申込み・お問合せ先＞

日本演出者協会 担当：篠本／川口

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎3F

TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075 携帯: 080-3580-3103 (当日のみ)

専用メールアドレス: kindaigikyoku@yahoo.co.jp

※受付開始、開場は開演の40分前です。

※受付は開演の10分前までにお済ませください。10分前を過ぎますとご予約を頂いてもお席をご用意できない場合があります。



「劇」小劇場

小田急線・井の頭線
「下北沢」徒歩3分
東京都世田谷区北沢2-6-6
TEL 03(3466) 0020

参加申込み票

氏名 フリガナ	性別	電話:						
	男・女	FAX:						
ご住所 〒								
チケット枚数	3/11(月) リーディング	枚	3/11(月) シンポジウム	枚	3/12(火) リーディング	枚	3/12(火) シンポジウム	枚